



北側立面図



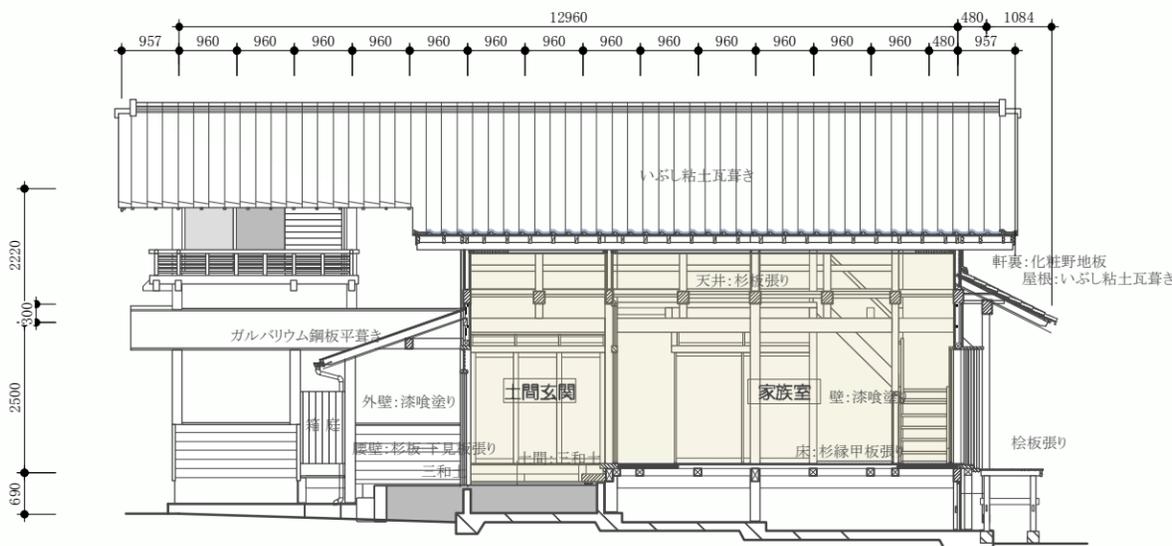
西側立面図



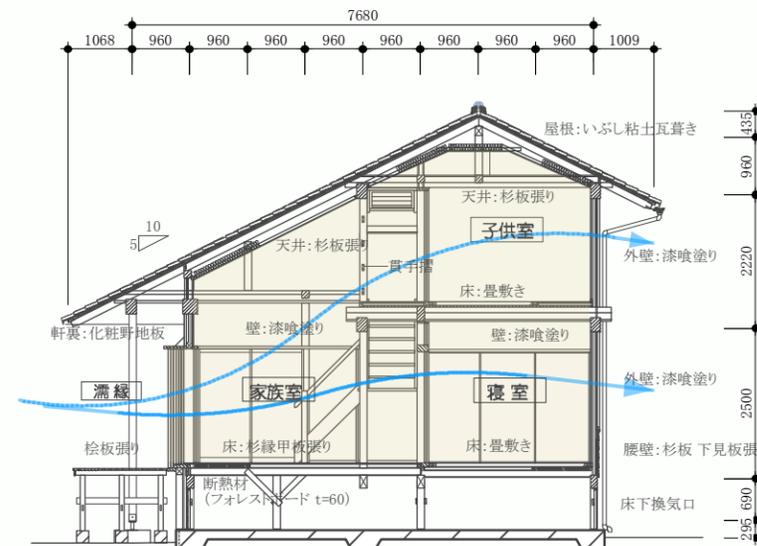
南側立面図



東側立面図



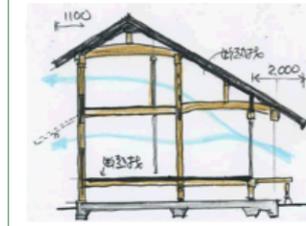
断面図-1



断面図-2

←風のながれ

伝統構法による循環型社会



伝統構法を採用し、日本の建築文化を継承した循環型の社会。将来の民家再生を可能とする。地元の大工・職人の雇用を増やす。構造材・内装木材は水俣の杉・檜。藁畳床を使用して藁の需要をのばす。

家の内部と外部の融合



外部と遮断するのではなく、家の内部と外部の融合性を重視した間取りが似合う。

イブシ瓦の屋根

熊本産のイブシ瓦。凍害がないのでイブシ瓦の耐久性は100年。南面は樋なし。古瓦の雨落ちで雨水を受ける。北面は樋をかけ、木製雨水タンクに雨水をためて、畑に水やり。



日射遮蔽 深い庇 グリーンカーテン

軒の出は1.1m。居間の部分は2m以上とし、不快な梅雨時にも窓が開けられることは気持ちが良い。



西側面格子にゴーヤのカーテン

シロアリ対策 足固め工法

防蟻材を使用しない。シロアリは通風がよければ上にあがってこない。床下全面開放。南の地方では有効な方法。水平体力計算を行う。敷地内レベル差60cm。敷地の高低差を生かし、柱の長さで調節をおこない、床レベルを同一とする。

